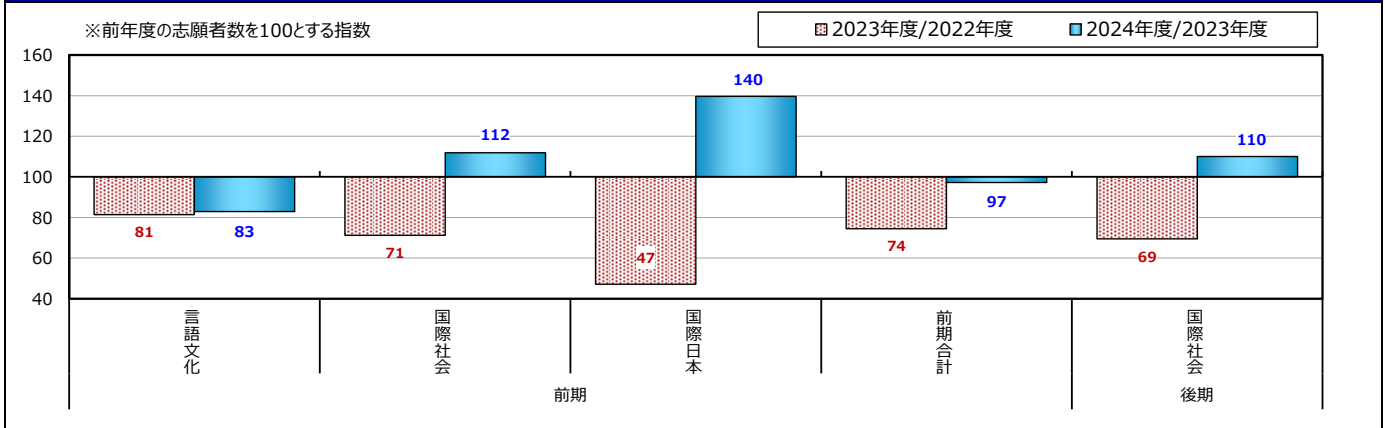


東京外国語大：コロナ禍の影響からの回復は小さく、前期は大学全体では 2 年連続減少 前期：-32 人 後期：+92 人



COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、コロナ禍の影響による前年度大幅減少への回復の動きは小さく、60 人(103)のやや増加に留まった。日程別では、前期は 32 人(97)のやや減少で、前年度の大幅減少に引き続き 2 年連続減少。募集人員が 579 人となった 2019 年度以降では最少。志願倍率は 1.96 倍→1.91 倍にダウンし、2 年連続で 2 倍を下回った。国際社会のみ募集の後期は前年度減少率 30%を超える大幅減少の反動は小さく、92 人(110)の増加に留まった。それでも、志願者数は 1,000 人を上回り、志願倍率も 16.5 倍→18.1 にアップ。

<前期日程>

- 言語文化(83)は、大幅減少で、募集人員が 290 人となった 2019 年度以降では 5 年連続減少。志願倍率も 2.2 倍→1.8 倍にダウンし、2 倍を下回った。専攻言語別では、15 募集単位中 10 募集単位が減少。増減が目立った募集単位は、減少では(言語文化/ロシア語)(43)、(言語文化/ウルドゥー語・ヒンディー語・ベンガル語)(48)が半減以下。一方で、増加では(言語文化/中国語)(200)が倍増。
- 国際社会(112)は、前年度大幅減少の反動で 2 年ぶりに増加。専攻地域別では、13 募集単位中 8 募集単位が増加。増減が目立った募集単位は、増加は(国際社会/中央ヨーロッパ)(213)は倍増以上。一方で、減少では(国際社会/オセアニア)(38)は激減。
- 国際日本(140)は、前年度半減以下だった反動で 23 人(140)の大幅増加。志願倍率も 1.7 倍→2.3 倍にアップ。